6-2 応用バイオ学科

教育目標

高品位な社会生活に必要な生命科学に基づいた技術開発のために、本学科では、生物に関連した新機能分子創出、ゲノム解析や遺伝子解析、人間の行動や感覚の 仕組みについて主に学ぶ。生命現象の基礎となるDNAやタンパク質の合成過程、生物の基本機能、感覚や行動を制御する脳の仕組みを理解し、広義のバイオ技術 に基づいて新しい産業を担うことのできる人材を育成する。

科目	취묘뿐	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		タ業に必要な最低単位数	
昱分	科目群	1期前学期	2期後学期	3期 前学期	4期後学期		6期後学期	7期 前学期 8期 後	· 学期	▶必修 ■□選択	課程共通
Ď.	修学基礎	▶修学基礎 A ②	▶修学基礎 B ②							4 -	_
	技術者倫理			▶技術者と持続可能社会 ②		▶科学技術者倫理 ②				4 -	_
				▶日本学(日本と日本人) A ①	*1	■日本国憲法 ②		※ 1			
人文社会 • 外国	1 +11011H			▶日本学(日本と日本人) B ①		■韓国語入門 ②	i				
	•外国語		日本文学の世界②		科学技術と社会 ②	国際関係論 ②				2 4	% 2
			■ 人間と哲学 ② 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	■ グローバル社会(ヨーロッパ) ② ■ グローバル社会(アジア) ②		■ 危機管理論 ②					
			経済と社会 ②		正未の他机と状門						
	生涯スポーツ	健康・体力づくり ①	◆生涯スポーツ演習①							2 -	_
	人間と自然	▶人間と自然							2	合格が 一 学業要件	<u> </u>
	#. /E.\\		□ 指定放送大学科目 「指定放送大学	 大学科目」は、在学中に1科目以上を「履修」し	<u>;</u> 、単位認定試験を「受験」することが卒業要件		+	1	\rightarrow		+
生涯学習 「生涯学習特別講義								_ _			
英		■イングリッシュトピックス1② -	イングリッシュトピックス1② → ■イングリッシュトピックス2② → ■イングリッシュトピックス3② → ■イングリッシュトピックス4② 基礎]								
		→ ■イングリッシュトピックス 3 ② →		→ Ľジネスコミュニケーション2②	► ビジネスコミュニケーション1②	初級(案 1)					
		■ 127777711C97A3@ =	▶ ■ ビジネスコミュニケーション1② -	→ ■ビジネスコミュニケーション2②	→ 【イングリッシュトピックス4②		- 				
		■イングリッシュトピックス5② -	▶ ■ アカデミックリーディング 1 ② ・	→ ■アカデミックリーディング2 ② ·	賃 ■アカデミックリーディング1 ②	中級(案1)	役定(基礎、初級、中級)を実施します。 				
	英 語		▶ ■ ライティングベーシックス ② ・	▶ ■ アカデミックプレゼンテーション② ·	○	中級(案2)				- 8	
			→ STEM イングリッシュ ② -	→ ■イングリッシュセミナー ② ·	履 STEM イングリッシュ ②	中級(案3)					
			■TOEIC 初級 ②		1 1 1 1 1 1						
			■ TOEIC 中級 ②								*2
			■インテンシブイングリッシュ②								
		▶線形代数Ⅰ ②	□線形代数Ⅱ ②	□アドバンスト数理 A ②							
		▶ バイオ・化学のための数理 ④	▶バイオ・化学のための統計 ②	□アドバンスト数理 B②							
	数理基礎		□ バイオ・化学のための数理 ④	□基礎生物 ②						9 6	
			□基礎化学 ②	□技術者のための統計 ②	*1						
			□基礎物理 ②								
H.			► A I 基礎 ①								-
MITTER	基礎実技	プロジェクトデザイン入門(実験) ②	プロジェクトデザイン 1 ②	プロジェクトデザインⅡ ②						10 –	
		▶ I C T 基礎 ②	□ グローバルPD ②	:	*1						
専門科目		▶ バイオ・化学大意(応用バイオ) ②	▶バイオ工学入門 ②	▶ アカデミックライティング ①	▶ パイオ・化学基礎実験・演習 B (応用パイオ) ③	▶生命と倫理 ②	▶応用バイオ専門実験・演習 B ③				
		▶ 基礎生物学 ②	▶バイオ情報入門 ②	▶細胞の構造と機能 ②	□データ解析 ②	▶ 応用バイオ専門実験・演習 A ③	□生化学 ②				
		▶人体の構造と機能 ②	 	▶ バイオ・化学基礎実験・演習 A (応用バイオ) ③	□微生物学 ②	□運動機能論 ②	□脳科学 ②				
			 	□神経科学 ②	□感覚機能論②	□生体計測 ②	□ 医用工学 ②				
	声 門 科 日			□有機化学Ⅰ ②	□バイオ情報基礎②	□食品栄養学 ②	□ 細胞工学 ②				
	ত। সাবা			□分子生物学 ②		□遺伝子工学 ②	□アドバンストバイオ工学 ②			60	*2
						□生命科学 ②	□ アドバンストバイオ情報 ②				
						□有機化学Ⅱ ②					
	ロジェクト科目						▶専門ゼミ ①		8	9	_
- 2	その他					□進路セミナーⅠ ①	□進路セミナーⅡ ①			_	_/

○付数字は単位数を表す。 ※1: ■ ゾーンの科目は学科によって開講学期が異なるので注意すること。 ※2:「課程共通」は、「人文社会科学・外国語」、「生涯学習」、「英語」、「数理基礎」、「基礎実技」、「専門科目」の科目群の中から、6単位を修得すること。

カ

ガ

<u> 159</u> CHAPTER **ら** カリキュラムガイド

○ 必修科目 図択必修科目 図 選択科目

6-2 応用バイオ学科 [専門教育課程]

) キーワード

脳機能解析力 生命科学応用力 バイオ工学技術応用力 生命現象解析力

) 学ぶ領域

1バイオ工学

微生物や酵素の働き、バイオセンサーやバイオエネルギーなどのバイオ工学を中心とした領域を学ぶ。

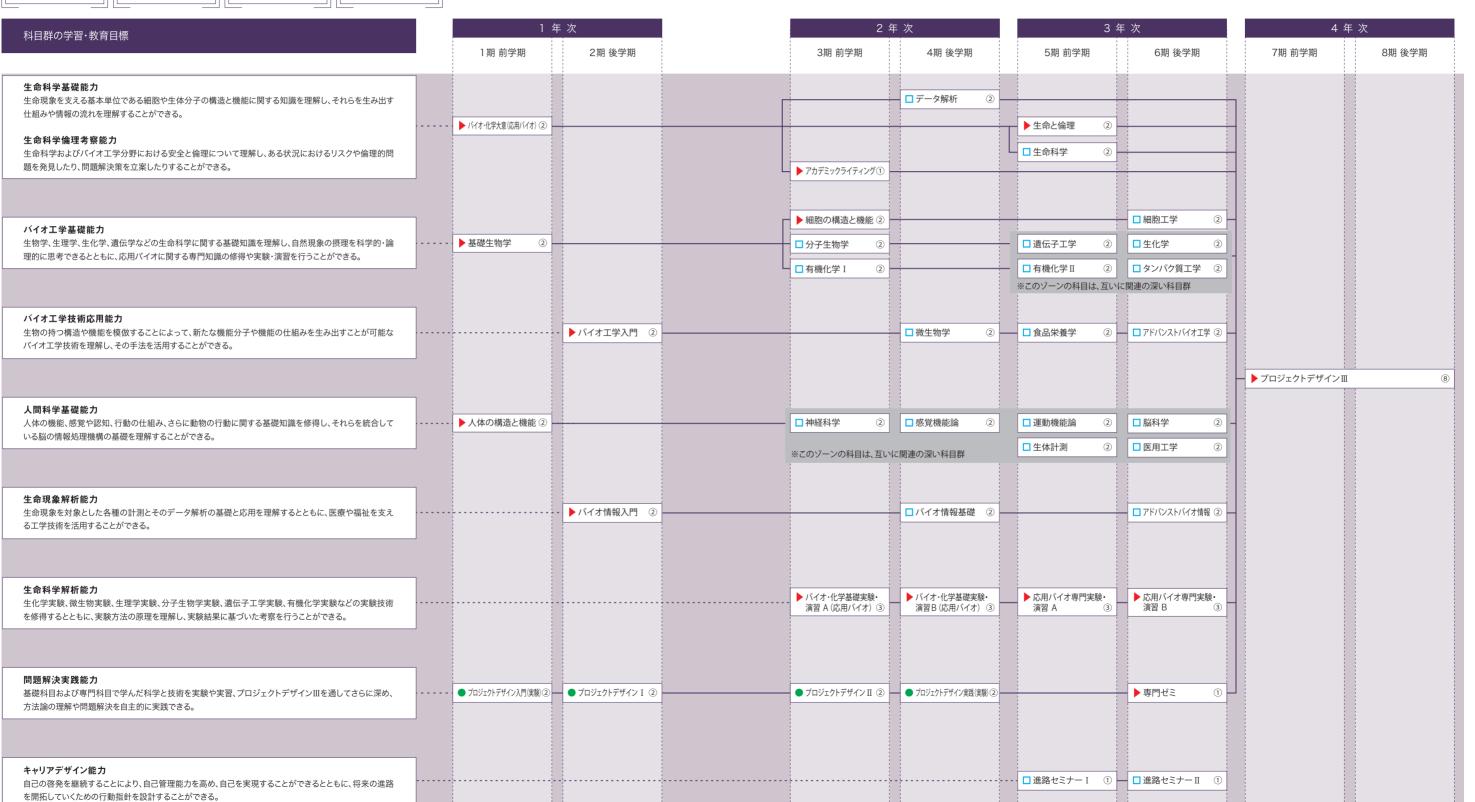
2脳科学

認知や感覚・行動を制御する神経網や脳の機能、およびその特性に最適な「人に優しい機器」の設計について学ぶ。

ガ

3遺伝子工学

ゲノムや遺伝子の仕組みやその解析手法と、これらに関するタンパク質の合成過程などに必要な領域を学ぶ。



● 必修科目 □ 選択科目 ● 他課程の科目

<u>161 CHAPTER </u> カリキュラムガイド <u>カリキュラムガイド</u> CHAPTER **与** 162